本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO
カシオ リチウム クオーツ
94

ご使用上の注意

カシオクオーツをいつまでも高精度でご愛用いただくため、下記の点を特にご留意ください。

(1) 極端に高い温度や、極端に低い温度条件下ではご使用にならないでください。機能が低下したり電池寿命を短くしたりする恐れがあります。

(2) 水が入りにくい構造になっていますが、精密な電子回路や部品を保護するために、入浴や海水浴、洗車時などの不確定な水圧が加わる恐れのあるときのご使用は避けてください。

(3) 通常の使用状態でのショックには耐えるよう設計されていますが、落としたり強い衝撃を与えますと故障の原因となりますので十分ご注意ください。

(4) この腕時計は、C/MOS-LSIや水晶振動子、それに液晶パネルなどの精密パーツで構成され組立てられていますので、時計の内部には絶対手をふれないでください。

(5) このカシオクオーツを腕から外したり、長期にわたってお使いにならないときは……

(a) 寒冷地や夏場の直射日光が当る場所には放置しないでください。

(b) 水蒸気がたったり、たちこめるような湿気が極端に多い場所で長時間放置したり、保存しないでください。

(c) 消耗した電池を入れたままにしておきますと、故障の原因になります。長時間お使いにならないときは電池を抜くか、 5年ごとに電池を入れかえながら保存してください。なお、電池の出し入れは絶対にご自分でなさらないでください。

(6) ボタン操作は確実に行なってください。

(7) このカシオクオーツに使用しているメタルバンドも汗やホコリでよごれます。汗をかいたときは、吸湿性の良い布などで水分を取り除いてください。また、ときどきは柔らかい歯ブラシ等を使い石けん水で部分洗いなどのお手入れをお願いします。(その際、時計本体には水がかからないようご注意ください。)

電池交換について

最初の電池は工場出荷時に組み込まれていますので、 約5年に満たないうちに寿命がきれることがあります。

電池が消耗しますと「内部照明のライトが点灯しなくなったり」「急に遅れが目立ったり」「表示が消えたり」「見にくくなります」このような症状があらわれたら電池交換を行なってください。

新しい電池とお取りかえいただきますとその後、 約5年の間ご使用になれます。

電池交換は、精度や寿命、気密性の維持上必らずお求めのお店かお近くのカシオクオーツ取扱い店あるいは当社営業所・出張所・サービスセンターにお申しつけいただき当社指定のカシオクオーツ専用電池と交換してください。

カシオクオーツ専用電池以外の電池をご使用しますと時計の正常な働きをさまたげ、故障の原因ともなりますのでご注意ください。

液晶パネルの交換について

この時計には高品質のFE型液晶パネルを使用しておりますが、液晶はその性格上5年、すぎますと、コントラストが低下したり、読みにくくなることがあります。その場合はお買いあげ店、またはカシオクオーツ取扱い店へ交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
常温携帯精度：平均月差±15秒以内
表示方式：FE型液晶デジタル表示
表示内容：フル時刻モード＝時・分・秒・午前/午後・曜日
時刻・カレンダーモード＝時・分・秒(10秒表示)・午前/午後・日・曜日
フルカレンダーモード＝年・月・日・曜 (年は西暦年の下2桁を表示)
セット機構：時刻セット機構 秒合わせ機構(±30秒クリア)
カレンダーセット機構
その他：24時間制表示機能
完全無修正フルオートカレンダー機能(西暦1970～2009年)
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子 ワンチップC/MOS-LSI
使用電池：リチウム電池(BR－2320) 1個 電池別途販売
電池寿命：約5年(1日5秒間ライト点灯の場合)

表示の見方と操作のしくみ

この時計は年・月・日・曜日・時・分・秒・午前／午後と、時に関するすべての情報をボタン1つの操作により、3つのモードで表示します。

Ⓑボタン
「時刻・カレンダー合わせ」をするとき押します。
※先の細いキズのつきにくいもの(ボールペンの先など)で押します。



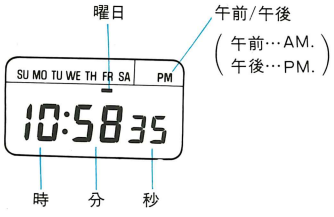
Ⓛボタン
押している間、ライトが点灯します。

Ⓐボタン
押すごとに以下の様に表示が切替わります。

フル時刻モード
時・分・秒・午前/午後・曜日

Ⓐボタンを押すと

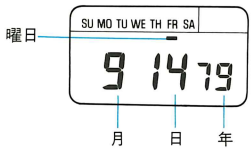
時刻・カレンダーモード
時・分・(秒)・午前/午後・日・曜日





フルカレンダーモード
年・月・日・曜日

Ⓐボタンをはなすと



Ⓐボタンを押している間

(西暦年の下2桁)

※24時間制表示のとき午前／午後表示は点灯しません。

24時間制表示への切替え

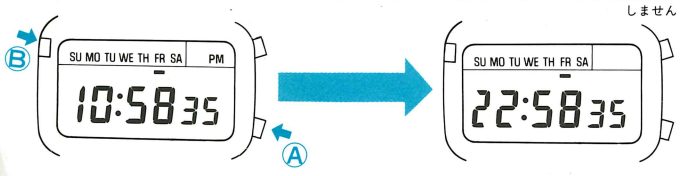
この時計は「24時間制表示機能」を持っており、以下の様な簡単な操作で24時間制表示に切替わります。用途に合わせてお使い分けください。

●切替え方

「フル時刻モード」あるいは「時刻・カレンダーモード」のとき※、Ⓐボタンを押したままⒷボタンを押し、両ボタンをはなします。

※どちらのモードで切替えても両モード共、切替わります。

12時間制表示　　24時間制表示　　午前／午後表示は点灯しません



24時間制表示から12時間制表示に切替える場合も同じ操作です。

時刻・カレンダーの合わせ方…「時計・カレンダーモード」あるいは「フル時刻モード」で行います。

■「秒」の合わせ方

30秒以内の遅れ進みは以下のように簡単に修正できます。月に一度ぐらいこの「秒合わせ」をしていただくと時計はいつも正確です。

【1】Ⓑボタンを押します。「秒」が点滅します。



【2】時報の「ポーン」に合わせてⒶボタンを押すと「秒」が点滅しながら00秒からスタートします。さらにⒷボタンを押すと点滅は止まり、通常表示に戻ります。



秒表示が00～29のときは切捨てられ、30～59のときは1分くりあがって00秒からスタートします。

※時報は電話117番が便利です。

■「時」「分」「秒」「年」「月」「日」「曜日」の合わせ方

電池交換後など時刻およびカレンダーが合っていない場合は以下の順序でセットしてください。

「秒」のセット

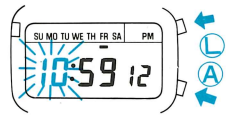
【1】Ⓑボタンを押すと「秒」が点滅して「秒合わせ」の状態になります。このとき前述のように時報に合わせてⒶボタンを押すと「秒」は点滅しながら00秒からスタートします。



「時」のセット

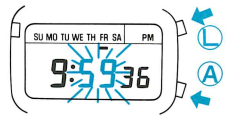
【2】「秒」のセットのあと Ⓛボタンを押すと「時」が点滅します。Ⓐボタンを押すごとに「時」が進みますので、合わせたい「時」にセットします。

※午前／午前の指定をまちがえないようご注意ください。AM. PM. は12をすぎるごとに入れ替わります。



「分」のセット

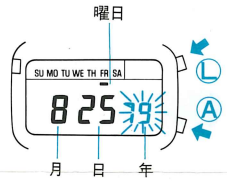
【3】「時」のセットのあと Ⓛボタンを押すと「分」が点滅しますので、Ⓐボタンで合わせたい「分」にセットします。



「年」のセット

【4】「分」のセットのあと Ⓛボタンを押すと「年」が点滅しますので、Ⓐボタンで合わせたい「年」にセットします。

※「年」は、西暦1970～2009年までセット可能で、数字は09の次は70に戻ります。



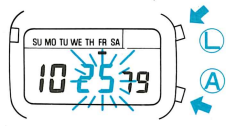
「月」のセット

【5】「年」のセットのあと Ⓛボタンを押すと「月」が点滅しますので、Ⓐボタンで合わせたい「月」にセットします。



「日」のセット

【6】「月」のセットのあと Ⓛボタンを押すと「日」が点滅しますので、Ⓐボタンで合わせたい「日」にセットします。



「曜日」のセット

【7】「日」のセットのあと Ⓛボタンを押すと「曜日」が点滅しますので、Ⓐボタンで合わせたい「曜日」にセットします。そのあとⒷボタンを押すと点滅は止まり、通常表示に戻ります。



時刻・カレンダー合わせのしくみ

●Ⓑボタンを押し「秒」を点滅させたあと、Ⓛボタンを押すごとに以下の順で点滅する個所が移動します。(「曜日」の次は「秒」に戻ります。)

秒 → 時 → 分 → 年 → 月 → 日 → 曜日

●どの個所も単独に修正できますので、Ⓛボタンで修正したい個所を選び、Ⓐボタンでセットします。

●セットが終われば、どの個所からでもⒷボタンを押すと通常表示に戻ります。

※修正中も時刻は正確にカウントを続けています。

この時計は大の月、小の月、うるう年も自動判別する「完全無修正フルオートカレンダー」ですので、1度カレンダーをセットすれば、電池交換時以外は修正する必要はありません。